



一般社団法人 電波産業会  
Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1181 2019年7月29日

ARIBの動き

### ITU-R WP5D 第32回会合の概要

ITU-R SG5 Working Party 5D (WP5D) 第32回会合が開催されましたので、その概要を報告します。

1. 日程： 2019年7月9日（火）～17日（水）
2. 場所： ブラジル・ブジオス
3. 出席者： 31か国、31団体から約165名が参加  
(日本は、総務省 有村係長を団長に18名、ARIBからは西岡理事以下3名が参加)



WP5D 第32回 クロージングプレナリの模様

#### 4. 会合の主要結果：

今会合における主要な結果は以下のとおりです。

- (1) 地上系 IMT の周波数アレンジメントに関する勧告 ITU-R M.1036-5 の改訂について、IMT 特定されていない帯域における IMT 展開に関する記述などいくつかの点において合意に至らず、角括弧を残した形のまま勧告改訂案へ格上げし、SG5 への上程することが合意されました。
- (2) Lバンドの IMT と BSS システムの共存検討 (WRC-19 議題 9.1、課題 9.1.2) について、新報告草案 ITU-R M.[IMT & BSS COMPATIBILITY] は WP4A において最終化に至らず、WP5D でのレビューを求めるリエゾン文書が入力されました。次回 WP4A 会合が 2020 年 5 月開催であること、2019 年 10 月に開催される WRC-19 での議論の結果を踏まえての検討が有用との見解を踏まえ、本会合では新報告草案のレビュー及びリエゾン文書作成は行われず、2020 年 2 月の WP5D 会合へ順延されることとなりました。

- (3) Lバンドの IMT と MSS システムの両立性検討（決議 223（WRC-15 改））について、新報告草案 ITU-R M.[REP.MSS & L-Band MSS COMPATIBILITY] は、WP4Cにおいて更なる更新が行われましたが最終化に至らず、WP5Dでのレビューを求めるリエゾン文書が入力されました。WP5Dにて更なる更新が行われましたが検討は完了とならず、新報告案への格上げは見送られ、2020年2月のWP5D会合へ順延されることとなりました。また次回WP4C会合が2020年5月であることから、本会合でのリエゾン文書作成は行われませんでした。
- (4) 3.3 GHz 帯の IMT とレーダーの共用・両立性検討（決議 223(WRC-15 改)）について、新報告草案 ITU-R M.[RADAR & IMT SHARING] は更新後、新報告案へ格上げされ SG5 へ上程することが合意されました。また上記内容を WP5B へ伝えるリエゾン文書が発出されました。
- (5) HAPS の IMT 基地局利用に係る検討について、新報告草案に向けた作業文書の更新が行われ、2020年5月のWP5D会合で継続検討されることになりました。また、WP3K・3M に対して伝搬モデル検討に必要な最小仰角を回答するリエゾン文書が発出されました。
- (6) 地上系 IMT システムの導入に係る各国の経験に関する新報告草案 ITU-R M.[IMT.EXPERIENCES]の作成について、ANNEX の一部の国の経験情報について議論が紛糾しましたが、記述の一部見直しにより合意され、3年に及ぶ議論の結果一定のレベルに達したとして SG5 へ上程することが合意されました。
- (7) 改訂 ITU-R 決議（50-3、60-1）、改訂研究課題（Q.77-7、Q.209-5、Q.229-4、Q.241-3、Q.242-2）を含む ITU-R の研究課題、意見、決議の改訂文書を最終化し、SG5 で報告する資料を完成させ、承認されました。
- (8) IMT-2020 の無線インタフェースについて、本会合が受付の最終締め切りであり、3GPP、中国、韓国、ETSI/DECT Forum、TSDSI、NuFRONT の 6 団体から 7 つ（3GPP から 2 提案）が入力され、提案内容を確認し受領の可否が検討されました。提案のうち 3GPP、中国、韓国からの 4 提案に関しては問題がなく受領が承認されましたが、ETSI/DECT Forum、TSDSI の提案は自己評価の内容に不備があり、NuFRONT の提案は技術概要の説明に不備があるとの結果となりました。不備がある提案については 2019 年 9 月 10 日までに不備を修正した文書入力を行えば、第 33 回会合で正式受領可否を判断するとの案が合意されました。
- (9) 上記の議論の結果を踏まえ、IMT-2020 無線インタフェースの策定に関する回章 5/LCCE/95 の追補 4 への IMT-2020 無線インタフェース候補技術に関する記載は、1) 提出完了と認知した候補技術、2) 提出が完了と決定されなかった候補技術 の 2 つに分類して各候補技術の評価結果を載せることとし、今後の計画、外部評価報告の要求、完成時期を記載したものが承認され、これを外部団体に周知するリエゾン文書が発出されました。
- (10) IMT-2020 の無線インタフェース勧告策定手順に関する新 IMT-2020 文書 (IMT-2020/VVV)はもともと WP5D 第 34 回会合 (2020 年 2 月) までに完成の予定でしたが、予定を早めて今回会合での完成が合意され、日中韓が提案した内容を基に文書を検討し、IMT-2020/20 として完成されました。
- (11) 3GPP Release16 仕様凍結の遅れを受け、2020 年内に新勧告 ITU-R M.[IMT-2020.SPECS]を完成させるためのタイムスケジュールが話し合われました。2020 年 11 月に第 36bis 回会合を開催して各国の規格化を WP5D で承認して ITU-R M.[IMT-2020.SPECS]を完成させることが合意されました。WP 5D 第 33 回会合(2019 年 12 月)から第 36bis 回会合までの詳細スケジュールを決定し、新 IMT-2020 文書(IMT-2020/21)が作成され、候補技術の提案者及び外部評価団体に

当該スケジュール及び手順(IMT-2020/20)を周知するリエゾン文書が発出されました。

- (12) WP5D 第 33 回会合 (2019 年 12 月) に開催される IMT-2020 評価のためのワークショップは、スケジュールおよび内容が合意され、外部評価団体に今後の評価の進め方も含め周知するリエゾン文書が発出されました。
- (13) WP5D 第 33 回会合 (2019 年 12 月) は、4 日間の開催とし、WG SPEC および WG GEN は開催しないことが合意されました。
- (14) IMT-2000 詳細無線インタフェース勧告 ITU-R M.1457 の第 15 版に向けた改訂について、TDMA/FDMA のみ更新した改訂を行うことが合意されました。

#### 5. 次回会合スケジュール：

次回第 33 回会合は、2019 年 12 月 10 日～13 日に、ITU 本部 (スイス・ジュネーブ) で開催予定です。

### テラヘルツ調査研究会－センシング編－ 第 2 回会合を開催

テラヘルツ波をセンシング分野に用いた場合に期待されるアプリケーションを明らかにし、開発課題、周波数要件、制度課題などを広く調査研究することで、テラヘルツ波利用システムの実用化を促進することを目的とするテラヘルツ調査研究会センシング編の第 2 回会合が、7 月 23 日 (火) に開催されました。

第 2 回会合においては、30 名が参加し調査研究の対象とするユースケースを抽出するとともに、個々のユースケースのどのような事項をどのような体制で調査すべきかの議論が行われました。

また、副委員長である情報通信研究機構 関根様より、最近の欧州 CEPT におけるテラヘルツ・センシングに関わる周波数特定の動向について紹介がありました。

次回会合は 8 月下旬に開催予定です。

### 第 277 回技術委員会 (通信・放送合同) を開催

第 277 回技術委員会を開催しました。

1 日時： 2019 年 7 月 24 日 (水) 16 時 00 分から 17 時 30 分まで

2 場所： 当会第 2、3 会議室

#### 3 議題

- (1) 第 112 回規格会議の開催について
- (2) ボリビア地デジセミナーの結果について
- (3) タイでの 5G 関連イベントの概要について
- (4) グローバル 5G イベントの概要について
- (5) AWG25 の概要について
- (6) ITU-R WP5D 第 32 回会合の概要について
- (7) 「第 5 世代モバイル推進フォーラム」2019 年度総会について
- (8) ARIB が事務局を務める任意団体の動向について
- (9) 各社からのトピックス
- (10) その他

## 今週の ARIB 内会合（7月29日～8月2日）

- 7月30日（火） 規格会議（第112回）  
7月31日（水） スタジオ設備開発部会 機器間インタフェース作業班  
8月2日（金） 自営無線通信調査研究会（第16回）

## 今週の国際会合（7月29日～8月2日）

7月31日（水）～8月6日（火） APG19-5（東京・品川）

## 総務省からのお知らせ

### 放送システム委員会報告（案）に対する意見の募集 （23GHz帯無線伝送システムの双方向化等に関する技術的条件） 【令和元年7月24日発表】

情報通信審議会情報通信技術分科会放送システム委員会（主査：伊丹 誠 東京理科大学 教授）は、平成30年6月22日（金）から「23GHz帯無線伝送システムの双方向化等に関する技術的条件」についての検討を行ってきました。

このたび、放送システム委員会報告（案）をとりまとめたので、本報告（案）について、令和元年7月25日（木）から同年9月2日（月）までの間、意見を募集しています。

#### 【概要】

情報通信審議会情報通信技術分科会放送システム委員会は、平成30年6月から、「ケーブルテレビシステムの技術的条件」のうち「23GHz帯無線伝送システムの双方向化等に関する技術的条件」について調査・検討を行っており、本報告（案）は、これまでの調査・検討の結果を取りまとめたものです。

詳細については [【令和元年7月24日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<https://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)